



(JP tran) Ver1.0 (20191105)

目次

Mediatrix ユニットの構成	3
入門	3
Mediatrix ユニット Web インターフェイスへのログイン	3
デフォルトサーバーの構成	4
すべてのゲートウェイへのエンドポイントの登録	5
ハントを作成する	6
新しいルートを作成する	7
すべての FXO ポートでの自動コールアクティベーションの設定	8
特定の FXO ポートでの自動コールアクティベーションの設定	9
国の選択の構成	10
ダイヤルトーン検出の設定	10
応答遅延の構成	11
遠端切断パラメーターの構成	12
サービスの再起動	12
Mediatrix Sentinel IP アドレス	13
ドキュメンテーション	14
製品の廃棄	15
著作権表示	15

Web 設定使用時のご案内

Web の設定では、フィールドとボタンの意味がよくわからない場合は、Web ページの右上隅にある **Show Help** をクリックして下さい。

アクティブにすると、オンラインヘルプを提供するフィールドとボタンが緑色に変わり、それらにカーソルを合わせると説明が表示されます。

Mediatrix ユニットの構成

入門

手順

- 1) Mediatrix ユニットの WAN ネットワークインターフェイス(モデルに応じて WAN、ETH1、イーサネット、ネットワーク、又は ETH5 のいずれか)がネットワークに接続されていることを確認します。
- 2) Mediatrix ユニットの 2 番目のイーサネットコネクタ(モデルに応じて LAN、ETH2、又はコンピューター)がコンピューターに接続されていることを確認します。
- 3) Mediatrix ユニット管理インターフェイスにログオンします。

注: Mediatrix ユニットの初めてを使用する場合は、Mediatrix ユニットのクイックスタートガイドを参照して下さい。

Mediatrix ユニット Web インターフェイスへのログオン

情報

パフォーマンスを向上させるには、ブラウザの Microsoft Internet Explorer、Google Chrome、または Mozilla Firefox の最新バージョンを使用することをお勧めします。

注: 古いブラウザバージョンを使用している場合、管理インターフェイスにログオンできない場合があります。コンピューターのネットワークカードは、Mediatrix ユニットと同じサブネット上にある必要があります。

手順

- 1) Web ブラウザーで、Mediatrix ユニットが管理インターフェイスとの通信に使用する IP アドレスを入力します。
 - お使いのコンピューターがイーサネットポートに接続されている場合、一般的にローカルエリアネットワーク(LAN)、つまりほとんどのデバイスの ETH2 に接続するために使用され、192.168.0.10 IP アドレスを使用します。(PC は例えば 192.168.0.11 等に設定して下さい)
 - Mediatrix ユニットが IPv4 で DHCP を使用するように設定されている場合、提供された DHCP IP アドレスを使用します。
- 2) ユーザー名として **public** を入力し、パスワードフィールドを空のままにします。

注: **public** のユーザー名アカウントは管理者権限を持っています。

注: **admin** をユーザー名として使用し、**administrator** をパスワードとして使用することもできます。
- 3) **Login** をクリックします。

結果

管理インターフェイスの Information ページが表示されます。

デフォルトサーバーの構成

情報

場合によっては、既定のサーバーの構成が既に完了している可能性があります。

手順

- 1) SIP/Servers に移動します。
- 2) Registrar Host フィールドで、このゲートウェイに使用するサーバーIP アドレス又は FQDN を指定します。
- 3) Proxy Host フィールドで、このゲートウェイに使用するサーバーIP アドレス又は FQDN を指定します。
- 4) Messaging Server Host フィールドで必要に応じて、このゲートウェイに使用するサーバーの IP アドレス又は FQDN を指定します。
- 5) 値を設定するよう特に指示されない限り、Outbound Proxy Host フィールドは空のままにします。

注: アドレスを 0.0.0.0:0 に設定するか、フィールドを空のままにすると、発信プロキシホストが無効になります。

- 6) Apply をクリックします。
- 7) ページの上部にある Restart required services をクリックします。

結果

Default Servers	
Registrar Host:	<input type="text" value="sip.registrarserver.com"/>
Proxy Host:	<input type="text" value="sip.proxyserver.com"/>
Messaging Server Host:	<input type="text"/>
Outbound Proxy Host:	<input type="text"/>

すべてのゲートウェイへのエンドポイントの登録

手順

- 1) SIP / Registrations に移動します。
- 2) 登録が必要なエンドポイントごとに、次の 2 つの手順を繰り返します。
- 3) Register 選択リストから、Enable を選択します。
- 4) Gateway Name 選択リストから、各エンドポイントに対して All を選択します。
- 5) Apply and Refresh をクリックします。

結果

Endpoints Registration						
Endpoint	User Name	Friendly Name	Register	Messaging	Gateway Name	
Endpoint 1	<input type="text" value="user_name1"/>	<input type="text"/>	Enable ▼	Disable ▼	all ▼	
Endpoint 2	<input type="text" value="user_name2"/>	<input type="text"/>	Enable ▼	Disable ▼	all ▼	
Endpoint 3	<input type="text" value="user_name3"/>	<input type="text"/>	Enable ▼	Disable ▼	all ▼	
Endpoint 4	<input type="text" value="user_name4"/>	<input type="text"/>	Enable ▼	Disable ▼	all ▼	

ハントを作成する

手順

- 1) Call Router/Route Config に移動。
- 2) Hunt テーブルをクリックしてください。
- 3) Name フィールドに FXO_Hunt と入力します。
- 4) ドロップボックスからの次の Destinations のフィールドを選択 FXO-FXO1、FXO-FXO2、FXO-FXO3、FXO-FXO4。
- 5) Causes フィールドの横にあるドロップボックスから、状況に関連する原因を選択します。
- 6) Save をクリックします。

結果

Configure New Hunt	
	Suggestion
Name	<input type="text" value="FXO_Hunt"/>
Destinations	<input type="text" value="fxo-FXO1, fxo-FXO2, fxo-FXO3, fxo-FXO4"/> <input type="text" value="--- Suggestion ---"/>
Selection Algorithm	<input type="text" value="Sequential"/>
Timeout (seconds)	<input type="text" value="0"/>
Causes	<input type="text" value="31, 34, 38, 41, 42, 43, 44, 47"/> <input type="text" value="--- Suggestion ---"/>
Config Status	

新しいルートを作成する

始める前に

タスク [ハントの作成](#) (p. 6) を完了する必要があります。

手順

- 1) Call Router/Route Config に移動。
- 2) Routes テーブルで、**+** をクリックしてください。
- 3) ドロップボックスの横にある Sources フィールドから、sip-default を選択します。
- 4) ドロップボックスの横にある Destination フィールドから、hunt-FXO_Hunt を選択します。
- 5) Save をクリックします。
- 6) Routes テーブルで、**+** をクリックしてください。
- 7) Sources の隣のドロップボックスから、使用されているすべての FXO ポートを選択します。
- 8) Destination フィールドで、sip-default を設定します。
- 9) Apply をクリックして、新しい構成を適用します。

結果

Routes						
Index	Sources	Criteria Property	Criteria Rule	Transformations	Signaling Properties	Destination
1	sip-default	None				hunt-FXO_Hunt
2	fxo-Slot4/FXO1,fxo-Slot4/FXO2,fxo-Slot4/FXO3,fxo-Slot4/FXO4	None				sip-default

全ての FXO ポートでの自動コールアクティベーションの設定

手順

- 1) Telephony/Services に移動します。
- 2) **Select Endpoint** 選択リストを **Default** に設定する。
- 3) **Automatic Call Activation** を **Enable** に設定する。
- 4) **Automatic Call Target** を SIP サーバ IVR 又は所望の内線番号にを設定する。

結果

Select Endpoint:

Services Configuration	Unit Defaults
General Configuration	
Hook Flash Processing:	<input type="text" value="Process Locally"/>
Automatic Call	
Automatic Call Activation:	<input type="text" value="Enable"/>
Automatic Call Target:	<input type="text" value="example"/>

特定の FXO ポートでの自動コールアクティベーションの設定

手順

- 1) Telephony/Services に移動します。
- 2) Select Endpoint 選択リストから、構成する FXO エンドポイントを選択します。
- 3) Automatic Call セクションで、Endpoint Specific 選択リストを Yes に設定します。
- 4) 設定して自動着信活性化するために選択リストを有効にします。
- 5) Automatic Call Target 選択リストに SIP サーバの IVR または所望の内線番号に設定する。
- 6) 2 から 5 のステップを繰り返し、各 FXO のエンドポイントを構成する。
- 7) Apply をクリックします。

結果

選択されたエンドポイント回線からの呼び出しは、SIP サーバーで構成された宛先番号に送信されます。

Select Endpoint:

Services Configuration	Unit Defaults	Endpoint Specific
General Configuration		
Endpoint Specific:		<input type="text" value="No"/>
Hook Flash Processing:	Process Locally	<input type="text" value="Process Locally"/>
Automatic Call		
Endpoint Specific:		<input type="text" value="Yes"/>
Automatic Call Activation:	Disable	<input type="text" value="Enable"/>
Automatic Call Target:		<input type="text" value="example"/>

国の選択の構成

手順

- 1) Telephony / Misc に移動します。
- 2) **Country テーブル**では、ドロップボックスから国を選択します。
- 3) **Apply** をクリックします。

結果

Country
Country Selection: NorthAmerica1 ▼

ダイヤルトーン検出の設定

手順

- 1) POTS / FXO 構成に移動します。
- 2) **FXO ダイヤル設定**テーブルにおいて、**Dial Tone Detection Mode** のドロップボックスから **CountryTone** を選択します。

注:すべての PBX メーカーが内線でカントリーダイヤルトーンを生成するわけではありません。
この場合、**Dial Tone Detection Mode** が無効になっていることを確認してください。無効になっていると、**Mediatrice ユニット**はダイヤルされた数字を出力しません。

注:すべての PSTN スイッチが PSTN 回線でカントリーダイヤルトーンを生成するわけではありません。
この場合、**Dial Tone Detection Mode** が無効になっていることを確認してください。無効になっていると、**Mediatrice ユニット**はダイヤルされた数字を出力しません。

- 3) **Apply** をクリックします。

結果

FXO Dialing Configuration	
Pre Dial Delay (ms):	<input type="text" value="0"/>
Dial Tone Detection Mode:	<input type="text" value="CountryTone"/> ▼
Dial Tone Detection Timeout (ms):	<input type="text"/>

応答遅延の構成

手順

- 1) POTS/FXO Configuration に移動します。
- 2) FXO Answering Configuration テーブルを、必要に応じてフィールドに入力します。

注: PBX が発信者 ID を Mediatrix ユニットに渡さない場合、呼出前に **Wait Before Answering Delay** を 2500 に減らして、リング検出時に Mediatrix ユニットがオフフックになるまでの時間を短縮できます。

- 3) Apply をクリックします。

遠端切断パラメーターの構成

手順

- 1) POTS / FXO Configuration. に移動します。
- 2) FXO Force End of Call テーブルで、Force End Of Call On Tone Detection Mode ドロップボックスから、Custom Tone. を選択します。
- 3) Tone Detection Custom Frequency フィールドを 350 に設定します。

注: 遠端が切断されたときに PBX が内線で生成するトーン(正確な周波数とリズム)を PBX サプライヤーに確認してください。

- 4) 必要に応じて他のフィールドに入力します。
- 5) Apply をクリックします。

結果

FXO Force End Of Call	
Force End Of Call On Call Failure:	Enable ▼
Call Failure Timeout (sec):	30
Force End of Call On Silence Detection Mode:	Disable ▼
Silence Detection Timeout (sec):	300
Force End Of Call On Tone Detection Mode:	Custom Tone ▼
Tone Detection Custom Frequency:	350
Tone Detection Custom Cadence:	
Detection Custom Repetition:	3 x

サービスの再起動

手順

- 1) System/Services. に移動します。
- 2) Restart required services テーブルで、Restart required services サービスをクリック。

Mediatix Sentinel IP アドレス(C7 シリーズや G7 シリーズは関係ありません)

Mediatix Sentinel の物理接続が完了したら、管理インターフェイスにアクセスできるようにユニットが使用している IP アドレスを見つける必要があります。

Mediatix Sentinel が LAN または Edge のどこにあるかに応じて、次のいずれかの方法を使用できます。

- ユニットが使用するデフォルトの方法であるユニットの MAC アドレスを使用して、DHCP サーバーで直接一意の IP アドレスを予約することにより、動的 WAN IPv4 アドレスを使用します。この方法は、Media 5 で強く推奨されています。
- 静的 WAN IPv4 アドレス、つまり 192.168.0.11 を使用します。
- 192.168.0.11 IP アドレスでプライベート LAN インターフェイスを使用します。
- IPv6 リンクローカルアドレスを使用します。デフォルトでは、IPv6 インターフェイスは無効になっています。

ドキュメンテーション

Mediatrix ユニットには、徹底的な文書一式が付属しています。

Mediatrix のユーザー文書は、[ドキュメンテーションポータル](#)にあります。

探している情報を明確に提示するために、いくつかの種類の手書が作成されました。私たちの文書が含まれます：

- **リリースノート(Release notes) :**

各 GA リリースで生成されるこの文書には、既知および解決済みの問題が含まれています。

それはまた、ソフトウェアの問題 変更点とリリースに含まれる新機能についても概説します。

- **設定メモ(Configuration notes) :**

これらの文書は、特定のユースケースの構成を容易にするために作成されます。これらは、ほとんどのユーザーが実行する必要があると考えられる構成の側面に対応しています。ただし、場合によっては、顧客から質問を受け取った後に構成メモが作成されます。これらは、使用するパラメータの値を詳述する標準的な段階的な手順を提供します。これらは検証の手段を提供し、いくつかの概念的な情報を提示します。構成ノートは、構成の側面を通してユーザーをガイドするために特別に作成されます。

- **技術速報(Technical bulletins) :**

これらの文書は、ファームウェアアップグレードの実行など、特定の技術的アクションの構成を容易にするために作成されます。

- **ハードウェアインストールガイド(Hardware installation guide) :**

ユニットを安全かつ適切に設置する方法に関する詳細な手順を提供します。カードのインストール、ケーブル接続、および管理インターフェイスへの最初のアクセス方法に関する情報を提供します。

- **ユーザーガイド(User guide) :**

ユーザーガイドでは、ユニットの構成をニーズに合わせてカスタマイズする方法について説明しています。

この文書はタスク指向ですが、ユーザーが各タスクの目的と影響を理解するのに役立つ概念的な情報を提供します。ユーザーガイドには、管理インターフェイスでTR-069を構成できる場所と方法、ファイアウォールを設定する方法、管理インターフェイスで利用できないパラメータを構成する CLI の使用方法などの情報が記載されています。

- **リファレンスガイド(Reference guide) :**

この包括的な文書は、上級ユーザー向けに作成されています。Mediatrix ユニットのすべてのサービスで使用されるすべてのパラメータの説明が含まれています。たとえば、特定のパラメータを構成するスクリプト、サービスによって送信される通知メッセージ、またはルールセットの作成に使用されるアクションの説明があります。この文書には、辞書などの参照情報が含まれており、段階的な手順は含まれていません。

製品の廃棄手順

この記号は、製品が電気または電子に分類されていることを示します
機器であり、商業用または家庭用と一緒に廃棄しないでください
その寿命の終わりに廃棄物。適切な廃棄とリサイクルのために
手順については、お近くの Media5 Corporation プロバイダーにお問い合わせください。
電気電子機器の廃棄物(WEEE)指令(2002/96/EC)が制定されました
環境への悪影響を最小限に抑えるために欧州連合によって、有害な制御
物質、および利用可能な最高の回収とリサイクルを使用して埋め立て地の拡大を削減
テクニック。

著作権表示

Copyright©2017 Media5 Corporation。

このドキュメントには、Media5 Corporation 独自の情報が含まれています。

Media5 Corporation は、このドキュメントおよび知的財産権に対するすべての権利を留保します。

文書と、それが包含および代表する技術とノウハウ。

この出版物は、全体または一部を問わず、いかなる形式でも複製することはできません。

Media5 Corporation による事前の書面による承認。

Media5 Corporation は、この出版物をいつでも変更および変更する権利を留保します。

そのような改訂や変更を個人や団体に通知する義務はありません。

